

2020年8月7日

神戸学院大学総合リハビリテーション学部

作業療法学科4年次生学生の皆さん 保護者の皆さま

2020年度作業療法臨床実習Ⅱbの実習途中終了について

謹啓、平素より本学作業療法学科の教育につきましてご協力を賜わり有難うございます。

この度は、新型コロナウイルス感染症が再拡大しており、御心配が多い毎日を送っておられることとお察し申し上げます。

さて、当学科では、誠に残念なことです、本年度の作業療法臨床実習Ⅱbを早期終了する決定を行いました。

現在、実習開始当初と比較し、都市部を中心とした国内のコロナ感染者の増加が顕著で、兵庫県では、実習再開日の6月29日の感染者は0名、(翌30日は1名)であったものが、8月6日は61人、7日は49人と激増し、緊急事態宣言時の人数をも上回っています。PCR検査の適用範囲等の違いで、緊急事態宣言中と単純な比較はできないことは確かですが、少なくとも実習開始時に比較して感染が拡大していることは否定できません。

このため、実習中や通学時における新型コロナウイルス感染危険度も高まっています。当科が依頼している実習施設のうち、何らかの形で感染者が出た施設が既に5施設にのぼり、更に、濃厚接触者ではないものの、実習施設に感染者が出た結果、学生1名がPCR検査を受けるに至りました(幸い結果は陰性でした。)

国からの緊急事態宣言は出されていないものの、兵庫県独自の感染状況判断では6段階で5段階目の感染拡大期Ⅱに相当するとされ、大阪府のモニタリング指標でも7月31日をもって、イエローステージ(警戒)2黄色信号になりました。

このような状況を考慮し、本学作業療法学科では、皆さんやご家族の感染リスクを回避する対策として学科内で議論を行った結果、作業療法臨床実習Ⅱbを原則8月14日(金)で早期終了する決定を、8月6日(木)に行いました。(実習施設の都合上で終了日程が若干前後します)。また、終了日までは通勤ラッシュ等による感染リスクを防ぐため、可能な限り通学時間帯を調整し、実習時間帯を10時~16時に変更するように施設側に依頼しています。ここまで実習を継続してきたにも関わらず、非常に残念な結果で、私共としても無念ではありますが、皆さんやご家族の健康と安全を保守するために決定させて頂きました。

前例が無く、一月先の状況も見通せず、明確な数値指針も難しい状況での判断なので、異論の余地があることは承知しておりますが、御理解頂ければ幸いです。

実習終了後から本来の実習終了日の8月28日(金)までの期間については、各施設担当(訪問担当)の教員からの指導や課題提供等を行い、代替課題によって、学生の学習を補填する予定です。

今後も、国家試験対策を含めて、コロナ禍の環境下で、4回生の卒業に向けて、我々作業療法学科教員は最善を尽くす所存ですので宜しくお願いいたします。

謹白

神戸学院大学
総合リハビリテーション学部
作業療法学科 学科長
阪井 一雄